

# Tokyo Loss

Featuring

# Chanomi Jun

サーファー  
パフォーマー  
カリグラファー  
チャノミジュン

[www.chanomijun.com](http://www.chanomijun.com)

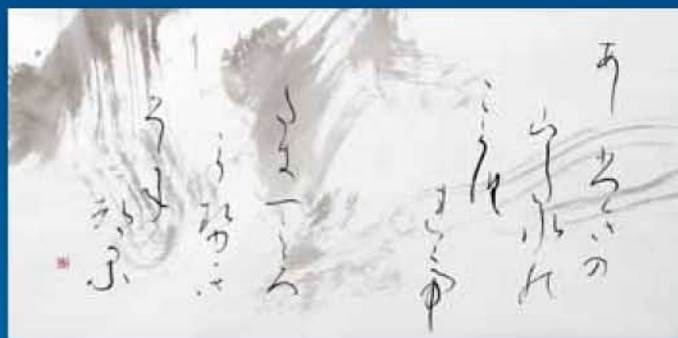
# 茶のみ潤 書道家・パフォーマー・サーファー

茶のみ潤のパフォーマンスは、瞑想による無の境地の中、意識から解離された挙動により、自身にも予期せぬ事象が起こる。口から吐き出された墨は空間を浄化し、天に突き上げられた大筆からは滝の如く墨が流れ落ち、肉体を清める。何かが憑依したか如く動くカラダと怒涛のリズムが呼応し、作り上げられたその異空間には、何も飾らない本人すら気づかぬありのままを表現したひとりのアーティストの衝撃的な作品だけが残る…。

幼少期より書道に精進し、29歳の時、単身オーストラリアへ波乗りと書の旅に出る。大陸の海岸線を波を求めて旅をしながら、オージーアーティストと共に展覧会を開催する等の活動を通じ自らのスタイルを追求する。1年間の旅を終え、帰国後は全日本サーフィン選手権大会出場や「茶のみ書道教室」の主宰、そして静岡県内外で講師として活動し、その傍ら書作品制作、看板・ロゴ・タイトル文字デザイン等を手がける。また書道家として、古典だけでなく創作アート書道の解説まで、幅広く奥深い書の世界を紹介し、その真髄を探求し続けている。

今回のISSEY監督作品 映画「Tokyo Loss」の中の2エピソード「ファイティン」「笑顔の向こう側」も監督とのヒアリングにより溢れでたイメージを筆圧の強弱・墨量のバランス・揮毫のスピードで、線質に息吹を与え一文字ごと表情を変え表現している。

その他、企業や行政からの依頼によるアートパフォーマンスやラジオ番組のレギュラー出演、テレビ・CM出演、講演など活動は多岐にわたる。



富士山静岡空港受付展示作品

【お問い合わせ】 プロデュース：(株)Ruu BEL office@ruubel.jp デザイン：(有)藤枝大石四宝堂